

# Spiritualism News Letter

2006  
第 33 号

4月1日発行

スピリチュアリズム・ニューズレター

発行/スピリチュアリズム・サークル 心の道場  
発行人/小池里予  
〒441-3141 愛知県豊橋市大岩町字北山468-1  
TEL 0532-41-0537 FAX 0532-41-8257  
ホームページアドレス <http://www5a.biglobe.ne.jp/~spk/>

今号の内容

- ・神の摂理と愛の世界—2…………… 1
- ・私たち「心の道場」について、ご紹介いたします……………11
  - 1 私たちの基本的な考え方と姿勢について……………12
  - 2 心の道場の活動（霊的ボランティア活動の内容）について……………23
  - 3 サークルのメンバーについて……………30

## 神の摂理と愛の世界 — 2

先回のニューズレター32号では、神の摂理と愛の世界の前半を述べました。今回はその続きです。

### 6 || 利他愛のさまざまな段階 (レベル)

ここでは利他愛のレベルについて見ていきます。「利他愛」は相手に対しての無償の働きかけですが、愛の対象の範囲や与える内容、そのために払う犠牲によってさまざまなレベルに分けられます。非常にレベルの高い利他愛から、それほどでもない利他愛といった差が生じます。

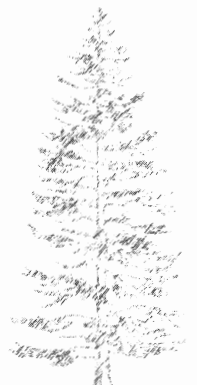
愛の表現形態にもさまざまなランク（段階）があります。愛の対象への働きかけという点では同じであっても、おのずから程度の差があります。  
(不滅の真理・226)

「愛の対象の範囲」によって利他愛のレベルが決定——より多くの人々への奉仕であればあるほど、多くの愛を与えたことになる

愛の対象が多くなればなるほど、働きかける相手が多くなればなるほど、その利他愛は価値が高まります。言うまでもないことですが、血縁関係のない一人の人間の幸福のために自分の幸福を後回しにし

て与えることは真の利他愛であり、摂理に一致します。しかしそうした相手が多くなればなるほど、言い換えれば、より多くの人々の幸福を願っての働きかけであればあるほど、その利他愛の価値は高まることになるのです。

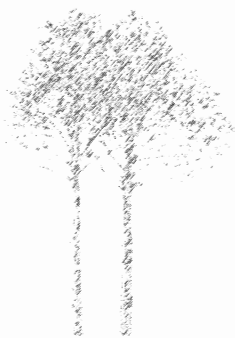
家族のためより一人の他人のために尽くすことは利他愛となります。そして社会のため、民族のため、国家のために自分や家族を後回しにして尽くし与えることは、より偉大な利他愛となります。さらに人類全体のために自分の人生を捧げ奉仕することは、それ以上に価値ある利他愛となるのです。もちろんその行為が本当に相手のため、人々のためになっていなければ愛とは言えません。（\*そこにこの後で述べる「与える内容」の問題が関係してきます）相手の霊的成長や真の幸福に貢献できる内容である場合、対象者が多ければ多いほど、多くの愛を与えているということになります。



スピリチュアリズムは地球上の全人類を救済しようという最高の利他愛です。私達スピリチュアリストは高級霊の道具として、人類全体を対象として利他愛を実践しているのです。一人でも多くの時期のきた人に霊的真理を伝えたいと願い、そのために与え続けることは「最大多数の人々への最大限の奉仕」です。一切の見返りを期待しないところでの霊的真理の伝道は、全人類に対する最高の利他愛なのです。それは人間として最も尊い歩みをしていることになります。

### 「与える内容」によって利他愛のレベルが決定 ——より霊的価値のあるものを与えれば与えるほど、多くの愛を与えたことになる

「与える」という行為は同じであっても、与える内容によって利他愛は、さまざまなレベルに分かれます。相手に対して、この世かぎりの一時的な救いや物質的な幸福ではなく永遠的な救いや幸福を与えることができれば、きわめて価値のある利他愛の行為ということになります。普遍的な叡智・霊的真理を与えることは、相手の霊的救いにつながり、霊的成長に直結します。それは相手に対する最も価値ある愛の行為なのです。霊的な幸福は、物質的な幸福とは比較になりません。それこそが人間にとっての真の幸福です。人々の本当の幸せを願うならば、最終的には「霊的真理と霊的救い」を伝えなければならないのです。この意味でスピリチュアリズムの「霊的真理の伝道」は、最高に価値ある利他愛の実践と言えます。



次に価値ある愛は、肉体の維持に必要な最低限の食料や物質を欠く人々に、それらを提供することです。肉体は霊的成長のための不可欠な道具です。その道具を維持できなければ、地上世界においてせつかくの霊的成長のチャンスを失うことになります。肉体を養うための援助は、間接的ではあっても“霊的な援助”の意味合いがあります。これも非常に価値の高い利他愛の実践となります。

一方、同じ物質的援助が、人間の霊的成長に必ずしもプラスにならない場合もあります。必要以上の物質を与えることが、精神的墮落をもたらすことがあります。こうした場合は、その援助は本当の利他愛とは言えなくなります。単なる与える側の“自己満足”にすぎないことになってしまいます。

スピリチュアリズムにおけるスピリチュアル・ヒーリングでは、肉体の病気を治すことよりも霊的自覚がもたらされることを重視します。肉体の病気が治っても霊的自覚がもたらされなかったならば、そのヒーリングは失敗と見なされます。ここにスピリチュアリズムの姿勢が端的に示されています。「霊的救いを肉体的救いよりも重視する」ということです。スピリチュアリズムのスピリチュアル・ヒーリングは、他のヒーリングよりも深い愛を与えようとする利他的思いからの奉仕なのです。スピリチュアリズムは、より価値のあるもの、霊的なものを優先的に与えようとする救済プロジェクトなのです。

#### \*マザーテレサの愛とスピリチュアリストの愛

マザーテレサは、その無償の純粋な利他的行為によって多くの人々に感動を与えました。私利私欲を超越したキリスト教の愛の見本を世界中の人々に示しました。マザーテレサは、キリスト教の教える領域で最高次元にまで至った聖人と言うべき人間でした。

しかしスピリチュアリズムの霊的観点からすると、スピリチュアリストは、マザーテレサ以上の深い愛を与えられる恵まれた立場に立っているということになります。それはスピリチュアリズムでは、死後も続く「霊的救い」を示すことができるからなのです。マザーテレサは、与えること、そして自己犠牲を払うことにおいて、ほぼ完

壁なレベルにまで達していました。ところが残念ながら与える愛の内容においては、最も価値ある霊的救いの方向性を示すことはできませんでした。私達スピリチュアリストは決意如何によって、マザーテレサと同じように純粋な奉仕の人生を送ることができます。しかしマザーテレサはスピリチュアリズムの「霊的真理」を知らなかったために、私達のような霊的な最高の救い（霊的成長の道）を示すことができなかつたのです。

霊界では、マザーテレサのような無償の愛に生きる高級霊達が何十億・何百億と結集して、地球人類の霊的救済のために日夜働きかけています。生前のマザーテレサの姿は誰もが見ることができましたが、霊界で献身的に働いている霊達の姿を大半の地上人は見ることはできません。そのため地上世界では、マザーテレサなどの一部の奇天人々だけに関心が向けられることになりました。

しかし霊界の事実を知ったスピリチュアリストならば、霊界で働く億万のマザーテレサ（高級霊達）にも意識を向けるべきでしょう。おそらくマザーテレサは、その優れた人格性と霊性により、死後は程なくしてイエスを中心とするスピリチュアリズムの本流の中に加わっているものと思われます。そしてその軍団の一員として地球人類の「霊的救い」のために働きかけているのではないのでしょうか。

## 「自己犠牲の多少」によって利他愛のレベルが決定 ——自己犠牲は利他愛の指標

より多くの愛を与えれば与えるほど「愛のサイクル」は強められ、その結果として多くの愛と喜び・幸福・霊的成長がもたらされるようになります。私達は、与えることだけに意識を向けていればいいのです。利他愛は多く与えることにおいて価値が決まるのです。

ところで皆さんは、どのくらい相手に愛を与えているのでしょうか？——それは相手のために「どのくらい多くの自己犠牲を払っているか」ということに示されます。自分が与えた愛の分量は、そのために払った自己犠牲の多少によって知ることができます。相手のために真剣であればあるほど、必然的にそれに見合った自己犠牲を払うようになります。ま

た真の利他愛ならば、そのための自己犠牲を喜んで受け入れるようになるものです。自己犠牲の多寡によって利他愛のレベルが決定するということです。

果して今、自分がどのくらい人類を愛しているのか？——それは今、自分が人類のためにどのくらい自分の大切なものを犠牲にしているかによって、はっきりと答えが示されます。これは“愛”は口先ではなく、現実の犠牲的行為によって計られるということの意味します。

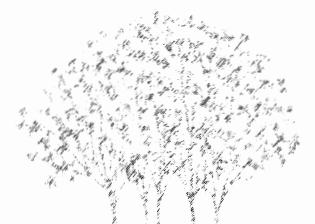
イエスは、全人類の霊的救済のために自らの生命を犠牲にしました。また現在、地球人類救済のために働いている高級霊達は、霊界での生活・進化の歩みという最大の霊的宝を犠牲にしてスピリチュアリズムのために献身しています。

自分の物質的財産や自分の大切なものをどれほど犠牲にしているか、自分の趣味や楽しみ・生活をどれほど犠牲にしているかによって、自分の愛の深さが明らかになります。自己犠牲を多く払っている人間であればあるほど、その利他性はますます高められるようになるのです。この「自己犠牲の法則」は、利他性の法則を強化するための法則と言えます。

我欲を捨て他人のために自分を犠牲にすればするほど内部の神性がより大きく発揮され、あなたの存在の目的を成就しはじめることとなります。  
(シルバーバーチ 1・145)

愛はまた、滅私と犠牲の行為となって表れます。  
(シルバーバーチ 1・146)

(愛は) 互いが互いのために尽くす上で必要ないかなる犠牲をも払わんとする欲求です。  
(シルバーバーチ 1・150)



## 無私の程度が、利他愛のレベルを決定する

利他性のレベルは、どのくらい自分自身を無にしているか、人々のために自分自身を後回しにしているかということにおいてもはっきりと示されます。“滅私奉公”というところと多くの人々は嫌な感じを持つかも知れません。時代遅れの道徳のように思うかも知れません。しかし、それは神の利他愛の摂理に一致した崇高な精神なのです。「相手のために」という利他性が強くなり純粋になると、自分自身のこと、自分自身の利益などはすっかり忘れ、ただ相手のことだけに意識が占められてしまいます。こうした滅私の状態は、利他愛が最高レベルにまで高まった、あるいは利他愛が最も純粋なレベルにまで高まった理想的な心境なのです。

世の中には口先では利他愛を叫びながら、しっかりと自分自身の利益を計算している人々が大勢います。自分のことを常に確保しながら愛の大切さを訴えます。そうした愛はもちろん純粋なものとは言えません。利他愛のレベルにおいて、まだまだ低いものなのです。

あなた方が自分のことを忘れて人のために精を出す時、あなた方を通して大霊が働くのです。

(シルバーバーチは語る・68)

自分のことより他人の目的を優先し、自分の存在を意義あらしめるほど、それだけ霊性が発達します。

(シルバーバーチは語る・135)

自我を発達させる唯一の方法は自我を忘れることです。他人のことを思えば思うほど、それだけ自分が立派になります。

(シルバーバーチ9・180)

愛の最高の表現は己を思わず、報酬を求めず、温かさすら伴わずに、全てのものを愛することができることです。その段階に至った時は神の働きと同じです。なぜなら自我を完全に滅却しているからです。

(シルバーバーチ1・146)

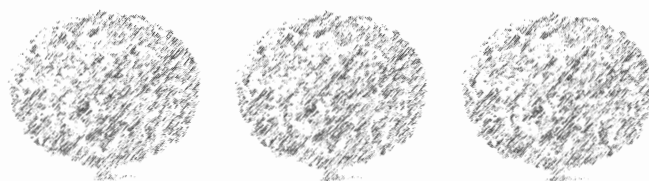
最高の愛にはひとかけらの利己性もありません。つまりその欲求を満たそうとする活動に何一つ自分自身のためという要素がないのです。それが最高の人間的な愛です。(中略) そうした愛他的動機から人類の向上のために、言い換えれば、内部に秘めた無限の可能性を悟らせるために尽力する人は、愛を最高の形で表現している人です。

(不滅の真理・226)

## 〈まとめ〉

利他愛のレベルの決定 (多く与えれば与えるほど、利他愛の価値のレベルが高まる)

より多くの人々を愛する・より霊的に高いものを与える・より多くの自己犠牲を払う・より多くの無償性を持つ——これらのトータルによって利他愛のレベルが決定する



## 7 || 聖書に見る利他愛の教え (イエスの教えの真髄)

先にも述べましたが、イエスの使命は、それまでに知られることのなかった本当の神の愛を地球人類に知らせ、神の愛を中心とする「霊的大家族世界」を地球上にもたらすことでした。イエスは本能中心の人間愛に代わって、霊中心の神の愛・利他愛を人々に教えようとしたのです。神の愛すなわち自己犠牲のともなう“利他愛”こそが、真の愛・最高の愛であることを示そうとしたのです。これがイエスによる「愛の革命」でした。地球人類はイエスによって、初めて本当の愛を知ることになりました。

さらにイエスは短い人生の中で、「与えることを優先する愛」「愛しがたい者をも愛する愛」の見本を示したのです。神が人類を愛するように、人間も神の愛に倣<sup>なら</sup>って本能・血縁を超えた愛の実践を行うことの重要性を訴えたのです。

聖書の多くの部分は後世の人間によって手が加えられ改ざんされ、真実でない内容が付け加えられています。そのためイエスが語ってもいないことが、イエスの教えとして広まってしまいました。新約聖書の中には、あまりにも真実とは懸け離れた内容が盛り込まれており、そのまま受け入れることはできません。その多くが、神の言葉・神の教えとはあまりにも隔たっています。

しかしその中で“利他愛”に関する内容については、間違いなくイエスが示したものと思われます。シルバークーパーがたびたび引用する聖句は、イエスが語った言葉と思われます。イエスによって始められた「愛の革命」は、スピリチュアリズムという形で現代にまで引き継がれ、今活発に展開しているのです。

ここではイエスによって示された利他愛についての記述を拾ってみます。

“隣り人を愛し、敵を憎め”と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。しかし、わたしはあなたがたに言う。敵を愛し、迫害する者のために祈れ。こうして、天にいますあなたがたの父の子となるためである。(中略)

あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、なんの報いがあるだろうか。そのようなことは取税人でもするではないか。兄弟だけにあいさつしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか。

(マタイ5章・43~47)

自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ。

(マタイ22章・39)

敵を愛し、憎む者に親切にせよ。のろう者を祝福し、はずかしめる者のために祈れ。人々にしてほしいと、あなたがたの望むことを、人々にもそのとおりにせよ。自分を愛してくれる者を愛したからとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、自分を愛してくれる者を愛している。自分によくしてくれる者によくしたとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でさえ、それくらいの事はしている。また返してもらおうつもりで貸したとて、どれほどの手柄になろうか。罪人でも、同じだけのものを返してもらおうとして、仲間に貸すのである。

しかしあなたがたは、敵を愛し、人によくしてやり、また何も当てにしないで貸してやれ。そうすれば受ける報いは大きく、あなたがたはいと高き者の子となるであろう。

(ルカ6章・27~28/31~35)

## 8 || 摂理と一致しない愛 ——利己愛(自己中心的な愛)・ 本能愛

ここでは摂理と一致しない愛、すなわちニセの愛について取り上げます。それを通じて真実の愛が、より鮮明になるものと思います。

### 摂理に一致する愛と一致しない愛

シルバーバーチはあるとき次のように言っています。

地上では愛という言葉が誤って用いられております。愛とはいえないものまで、愛だ、愛だと、さかんに用いる人がいます。ある種の本能の満足でしかないものまで、愛だと錯覚している人もいます。 (不滅の真理・225)

本来“愛”と呼ばれるにふさわしいものは、摂理に一致する愛であり、“利他愛”に他なりません。これが「本当の愛」です。愛の本質は霊であり、最も重要な霊的要素であり、その中には物質的要素を含みません。そして私達人間にとって一番重要な「霊的成長」をもたらします。利他愛は、霊的成長に不可欠な“霊的栄養素”なのです。

### 本当の愛・利他愛の特徴

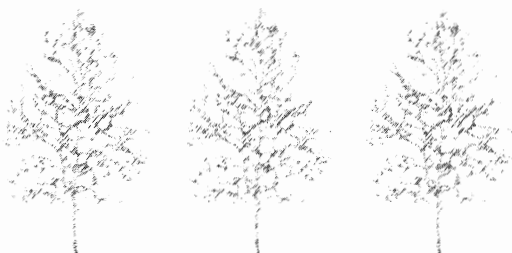
本当の愛(利他愛)には2つの特徴があります。一つは「先に愛する(与える)」ということです。与え続ける・与えることを優先するということです。もう一つは「愛する(与える)相手を選ばない」ということです。自分の好き嫌いの感情を超えて、また物質的な利害関係・血縁関係を超えて愛するということです。

こうした愛を持つためには、かなりの努力が必要とされます。現在の地球上で真にこの愛を実践している人は少数です。キリスト教はこの利他愛を教えています。実際に純粋な利他愛を実践しているクリスチャンは、ほとんどいません。

### 〈ポイント整理〉

摂理に一致する愛=本当(真実)の愛=利他愛

- 純粋に霊的な愛・霊的栄養素・霊的成長を促す
- 与えることを優先する・先に与える・与え続ける・見返りを期待しない
- 愛する相手を選ばない・自分の好き嫌いを超越する・利害関係や血縁関係を超越する
- かなりの努力が要求される



## ニセの愛・利己愛の特徴

これに対して摂理に一致しない愛、すなわち“ニセの愛”とは「利己愛（自己中心的な愛）・本能愛」です。世間一般に愛の名で呼ばれているのがこの愛です。この摂理から外れた愛の本質は、肉体的・本能的・物質的であるということです。この中には霊的要素は含まれず、当然、霊的成長をもたらすことはありません。それどころか霊的成長を停滞させ、これを妨害することにもなります。

このニセの愛（利己愛・本能愛）には2つの特徴があります。一つは「相手から奪う・相手に与えない・相手から与えられることを優先する」ということです。もう一つは「愛する相手を選ぶ」ということです。好きな人・気に入る人・血縁者・物質的利益がもたらされる仲間だけを対象とし、それ以外の人には与えません。こうした愛を持つには特別な努力も苦労も必要ありません。

### 〈ポイント整理〉

#### 摂理に一致しない愛＝ニセの愛＝利己愛・本能愛

- 肉体本能に由来する・霊的要素なし・霊的成長をもたらさない（阻害する）
- 相手から奪う・相手に与えない・相手から愛されることを優先する
- 愛する相手を選ぶ（好きな人・気に入る人・血縁者・物質的利益がもたらされる仲間）
- 努力が必要とされない

「利己愛・本能愛」は、一般の人々には当たり前の愛の在り方のように思われています。そして地球上の大半の人々が、こうした愛を中心として生活しています。また民族も国家も、その愛が拡大したものとなっています。地上世界を支配している利己愛は、物質的であり、動物と同じ本能的な愛です。そこには霊的要素はありません。よく素晴らしい愛と称えられる恋愛も家族愛も、残念ながらその実態は利己愛がベースとなっているのです。

## 利己愛のさまざまなレベル

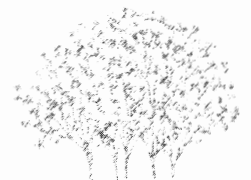
### ——利己性の度合いに応じて決定される

利他愛は、その利他性の程度によって、最も高いレベルからそれほど高くないレベルまで、さまざまな段階に分かれています。利己愛もそれと同様、その内容（利己性）によって、いろいろなランクに分かれます。すなわち“利己愛”には、最悪のものからそれほど悪性の多くないものまで種々のレベルがあるということです。

まず利己性の最たるものは、「力づくで相手の物を奪い、一方的に相手を独占・所有化する」というものです。次は「相手に与えない・愛されることだけを期待して愛することをしない」というものです。さらに次は「与える（愛する）ことはあっても、与えられる（愛される）ことを常に優先する」レベルということになります。このように同じ“利己愛”といっても、その利己性の程度は異なります。先に挙げたものほど利己性の度合いが強く、後のものほど弱いということになります。

また利己性のレベルは、関係を持つとする相手（対象）によっても決められます。自分を崇拝する人間・自分に従う者だけを愛するという最悪のレベル、次に自分に利益をもたらす相手とだけ付き合い、自分の血縁者だけを対象にしようとするレベル、そして自分の好きな人間・気に入る相手だけを対象にするレベルに分けられます。先のものほど利己性・本能性は強くなります。

独裁者は、最も強い利己愛の持ち主と言えます。最悪とも言うべき利己性の持ち主です。独裁者は時に、非常に愛情深い人間であるかのような行為に走ったり、異常とも思えるほどの愛を示すことがあります。しかし、それは内面の利己性を意図的に裏返したものにすぎません。



## 利己愛・本能愛が招く悲劇

摂理と一致しない利己愛は、まず人間にとって最も重要な「霊的成長の道」をストップさせることとなります。それどころか「悪因縁（悪いカルマ）」をつくり出し、霊的成長を阻むマイナス要因を生み出すこととなります。それによって償いのために苦しい遠回りの道を歩まなければならなくなってしまう。

また利己愛は、本人の心に「孤独・寂しさ・絶望・悲しみ」をもたらすこととなります。与えられる（愛される）ことを優先するところでは、霊的エネルギーが枯渇し、心がアンバランスになるからです。利己性の度合いに応じて、魂にもたらされる苦しみは大きくなります。

利己愛は、「愛のサイクル」という真の愛の世界・愛の関係づくりを阻害します。相手がいくら利他愛で愛していても、本人がいつまでも与えることをしなければ、愛のサイクル・真の愛の世界はでき上がりません。常に「一方通行の愛の関係」で終わってしまいます。

もし関係を結ぶ両者が、ともに利己愛しか持てないときには、さらに悲惨な結果をもたらすこととなります。互いに与えられることだけを期待し、それがエスカレートすると相手から無理矢理にでも取り上げようとして奪い合いが始まります。そして「暴力・争い・戦争」へと発展していきます。これまで

地球上に戦火の絶えることがなかったのは、地球上の人々・民族・国家が“利己愛”に支配されていたからです。21世紀の現在も、この利己愛は依然、地球上を支配しています。いずれの民族も自分達の利益を最優先して求め、いずれの国家も自国の国益追求を最優先しています。自分達の民族の利益拡大、自国の利益拡大に奔走しています。その結果、民族抗争と国家間対立が絶えず引き起こされることになっています。

地球上の争いは、両者が利己性に立っているところから生じます。両者が利己愛しか持てないとき、その最終結末は武力を用いた戦争となるのです。地球全体が“利己主義”に支配されているかぎり、地球上に平和は到来しません。国家の間に利他的関係が成立しないかぎり、戦争はなくなりません。現在の地球上には、いまだに利他的な方向を目指す国家は一つもありません。もし仮に現在、そうした真の平和的国家があるとするなら、その国家は直ちに滅ぼされることになってしまいます。

また物質的利益・富の奪い合いは、力のある者が多くを獲得することになり、「富の偏り・貧富の差」を生じさせることとなります。個人レベルにおいても、国家レベルにおいても、あまりにも極端な貧富の差が地球上を覆っています。そして世界各地に地獄さながらの悲惨な飢餓を生み出しています。





## “恋愛”という利己愛

一見すると純粋な愛のように見えて(感じられて)も、実は“利己愛”であるというのが家庭愛と恋愛です。恋愛は霊的な愛ではなく、肉体本能に由来する愛です。恋愛は霊的愛から遠く離れたもので摂理とは一致しません。燃え立つ恋愛感情は本能のなせる業です。恋愛関係にある男女を支配しているのは「独占欲・所有欲」です。恋愛の本質は相手から愛されることを優先的に求める利己愛です。自分以外の人に相手の愛が向かうことを許さない独占欲であり、相手の愛をすべて自分のものにしたという所有欲なのです。恋愛に“嫉妬”がともなうのは、その本質が独占欲・所有欲であるからです。激しい恋愛感情は両者の間に真の愛の関係をつくらせないどころか、憎しみや争いを引き出す結果にもなりません。

激しい恋愛感情は心を燃え立たせ、いつとき幻想の喜びをもたらしますが、時間とともに冷めるようになっていきます。摂理に一致した愛のサイクルではないため、発展性がないからです。そして恋愛には、その幻想の喜びに比例した「悲しみ・苦しみ・絶望」が必ずもたらされるようになります。「償いの摂理」の働きによってそのようになるのです。

この償いの苦しみを通じて、恋愛の利己性に気づき、本物の愛(利他愛)を求めるようになるとするなら、恋愛は「真実の愛」を学ぶための良き反面教師だったということになります。そうした意味で恋愛は存在価値を持ち、人間の霊的成長に貢献することになります。しかし恋愛の欺瞞性<sup>ぎまんせい</sup>に思いが至ることなく、次々と相手を変えるようなことを繰り返しているかぎり霊的成長の道に踏み出すことはできません。いつまでも霊性を低いところに押しとどめることになってしまいます。

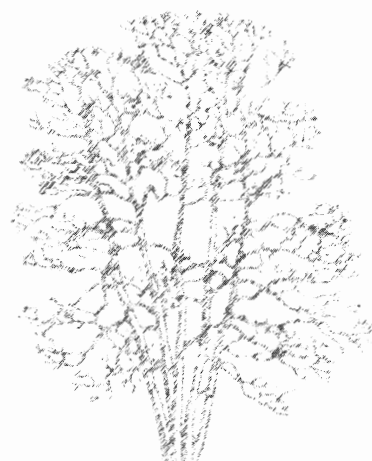
残念なことに、この世では“利己性”という恋愛の本質に気づくことなく、それを無条件に美しいものとして賛美しています。そして恋愛は、テレビドラマや演劇や芸術の格好の材料となっています。しかし恋愛は霊的に見たとき、決して価値のあるものではありません。どこまでも物質次元の愛・本能次元の愛にすぎないのです。

## 現代人の「愛されたい症候群」

### ——与えるより、ただ愛されたいという利己性

いつまでも利他愛を持ってない人間は、霊的に未熟なまま一生を終えることになりかねません。常に他人から愛されることだけを願う人間は、霊的には子供のままなのです。最近ではこうした大人が増えていきます。いつまでも霊的に自立できず、子供のレベルの霊性にとどまっているのです。このような人間は、他人から優しくされることだけを求めます。

親離れできない大人、依頼心が強く自分では何もできないといった人間は、典型的な「愛されたい症候群」と言えます。そうした利己性・霊的未熟性は、相手や周りの人々に対する不満や怒り、絶望感や孤独感を大きくしていきます。「先に与える」という摂理に一致した在り方に立たないかぎり、最後は摂理の働きによって絶望と孤独という魂の苦しみを味わうようになるのです。愛されることだけを願い、自ら与える愛(利他愛)を実践しない人間は、次々と自分を愛してくれる相手を求めてさ迷うことになります。そして行く先々で失望を繰り返し、結局は孤独の中に置かれるのです。



## 現代人の「優しさの安売り」という利己愛

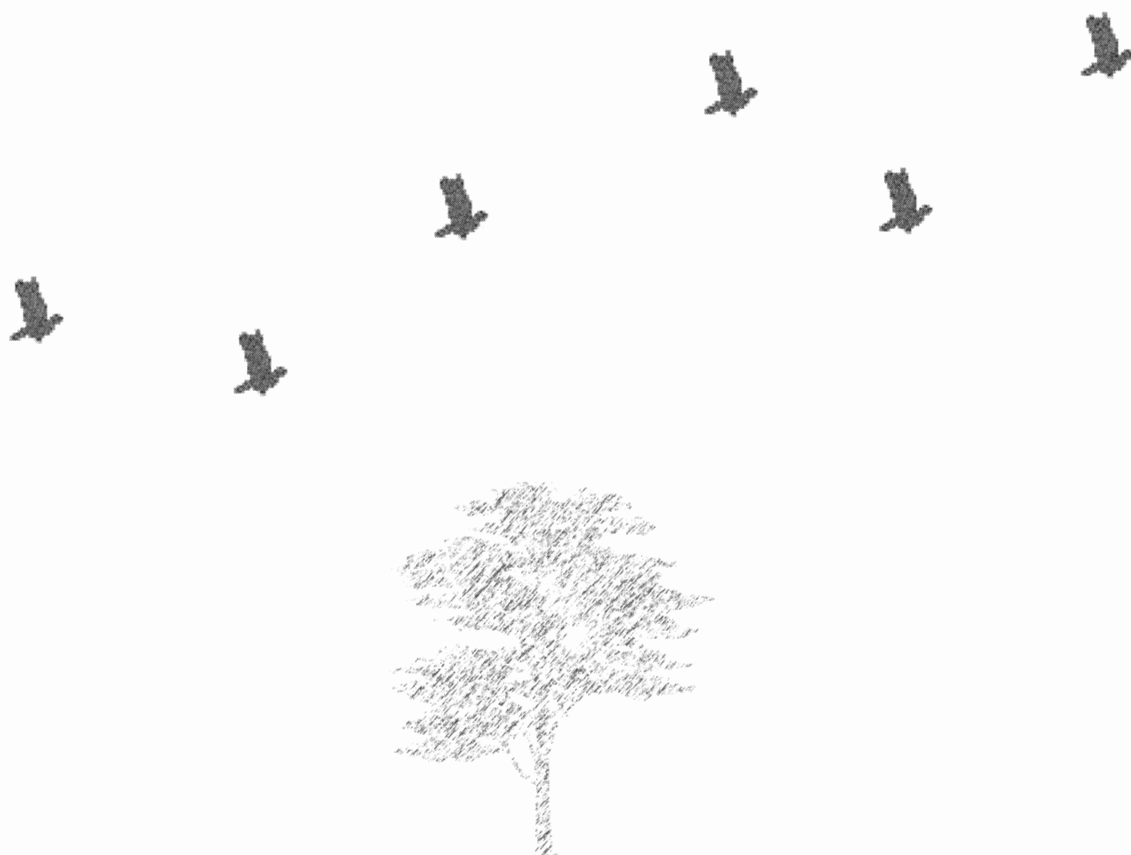
現代人の多くは愛されることを願い、ひたすら優しさを求める傾向が強いのですが、それに比例するように、必要以上に他人に優しさを与える風潮が見られます。そうした「優しさの安売り」の本音は、相手から嫌われたくない、相手から良く思われたいというものです。“優しさ”はいかにも相手を愛しているようであっても、実際には相手からの愛を求めていることが多いのです。

本当に相手の成長と幸せを願うならば、たとえ相手が嫌がっても必要な注意をするのが当たり前です。親や教師・会社の上司は、相手を指導してより良い状態にすること・育てることが役目です。その責務を通じて“真の愛”を実践することになるのです。

しかし厳しく指導したり注意すると相手から嫌われるため、注意することを避けるようになります。やがて相手の言い分を何でも聞き入れ、嫌がること

を一切言わないようになります。こうして相手に迎合し、優しさを安売りするようになっていきます。相手の要求をすべて受け入れて優しくすれば、相手は喜び、自分もいい気持ちになれます。相手の言いなりになっていけば、相手から好かれ、自分も傷つかずに済みます。しかしそれは相手の霊的成長を阻害し、「肉主霊従」の勝手気ままを許すだけのことなのです。結果的に“本能人間”をつくることになってしまいます。

現代では、こうした「優しさの安売り」が、家庭・学校・会社・人間社会に蔓延しています。相手から嫌われたくない、相手から好かれたいという思いは利己愛にすぎません。相手を指導し引き上げるという責任を放棄して相手に迎合し、相手から好かれようとして人気取りに走るところに本当の教育は存在しません。「優しさの安売り」は、強い利己愛の表れなのです。



---

## 私たち「心の道場」について、 ご紹介いたします

これまで私たちのサークルには、多くの質問が寄せられています。「心の道場は、一体どのようなところですか?」「何をしているのですか?」「どのようなメンバーで構成されているのですか?」といった内容です。

今日まで私たちは、霊界の道具としてスピリチュアリズムに貢献することだけを念頭におき、ひたすら道具として正しい道を歩みたいと心がけてまいりました。そのため自分たちのサークルについて語ることは、ほとんどしてきませんでした。現在では毎日、大勢の方々から書籍やニューズレターの注文をいただいておりますが、その一方で、私たち自身について語らないことが、さまざまな誤解を生むような事態も発生しています。

そこでホームページで、私たちの率直な姿を紹介することにいたしました。その自己紹介の内容に対して、多くの方々からありがたいお言葉をいただいております。今回は、1月にホームページで公表した「心の道場」の紹介文を、ニューズレターにも載せることにいたしました。

この内容が皆さま方にとって、スピリチュアリズムを深く理解するうえでの助けとなり、実践の励みとなりますならば、これほど嬉しいことはありません。「ともに手を取り合って貢献しよう!」という気持ちになっていただけましたら、本当に幸いに思います。(＊ニューズレターへの掲載にあたって、ホームページの内容のごく一部分を手直いたしました。)



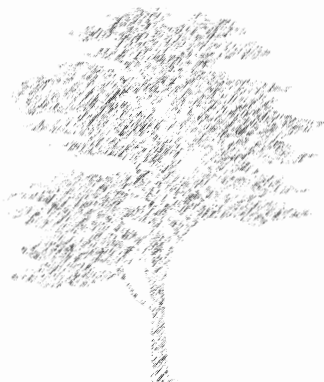
## ● 1 — 私たちの基本的な考え方と姿勢について

最初に、私たち「心の道場」における基本的な考え方と姿勢について紹介させていただきます。それを通じて私たちの有りのままの姿と、現在に至るまでの歩みを理解していただけるものと思います。

● スピリチュアリズムとシルバーバーチの霊訓は、私たちにとって最高の人生の指針であり人生の教師です。心の道場のすべては、シルバーバーチに代表される高級霊から送られてきた「スピリチュアリズムの霊的真理に立脚」しています。私たちは霊界の高級霊から送られてきた霊的真理を、人類史上最高の教えであり、最高の叡智であると考えています。霊的真理は、霊界の神庁で審議決定されたものが、高級霊を通じて地上にもたらされました。それは地上世界のいかなる思想・宗教とも次元を異ことにしています。

私たちは、霊界あげての人類救済活動が、現実にも今この時も進行中であることを確信しています。それが地上では“スピリチュアリズム”と呼ばれる霊性復興運動として展開しています。スピリチュアリズムは、これまでのいかなる宗教よりも次元の高いものであり、大きな使命を担っていると考えています。シルバーバーチに代表される“三大霊訓”は、そのスピリチュアリズムの大プロジェクトの結晶として地上にもたらされたものであり、そこに高級霊界の願いが結集しています。

「スピリチュアリズムは、地球上のすべての宗教の中で一番」「シルバーバーチの霊訓は、スピリチュアリズムの霊界通信の中で一番」——これが私たちが人々に訴えたいことの核心です。私たちは、短い地上人生の中でスピリチュアリズムと出会い、シルバーバーチと出会えたことを最高の幸運と思っています。そしてその最高の霊的恩恵を一人でも多くの人々に知らせ、ともに幸せに至る道を歩みたいと願っています。



\*シルバーバーチが一番と言うと“シルバーバーチ教”と批判する人々  
がいますが、それは誤解です。「シルバーバーチが一番」ということの真  
意は、シルバーバーチの靈訓の内容が、スピリチュアリズム関連の多く  
の靈界通信の中で、靈的真理を最も広範かつ正確に示しているというこ  
となのです。

私たちは、シルバーバーチという一人の高級靈を崇拝しているわけ  
ではありません。シルバーバーチを信仰対象とはしていません。私たち  
にとっての崇拝の対象は「神（大靈）」であり「神の摂理」です。

私としては、お届けするメッセージに耳を傾けてくださればそれでよいのでして、私とい  
う一個人、メッセンジャーとしてのシルバーバーチへ関心を寄せていただいても有難くあ  
りません。（シルバーバーチより）

● **シルバーバーチの靈訓との出会いは、私たちの「真理探究の一つの到達点」  
となりました。**シルバーバーチが日本に紹介される前は、私たちは自分たちなりに真  
理探究の道を歩んできました。可能なかぎりの心靈書や宗教書・思想書に目を通してき  
ました。その当時は、モーゼスの靈訓やさまざまな心靈学の書などを、とりあえず自分  
たちの靈的人生の指針としていました。

その一方で、本物の真理を求める努力を続けてきました。より高次の思想は、それ以  
下の思想のすべてを説明でき全体を見通すことができる。反対に低次元の思想は、高次  
の思想を包み込むことはできないし、その全体を見渡すことができない——こうした比  
較対照の観点から、さまざまな心靈書・宗教書・思想書を検討してきました。幸いなこ  
とに私たちは、多くの心靈現象や心靈体験の現場に立ち会うチャンスにも恵まれ、心靈  
世界に対して何の違和感もなく、ごく当り前のものとしてとらえることができました。

そうしている時、靈界からの長年の導きが、私たちの上に実を結ぶことになりました。  
シルバーバーチの靈訓との出会いが与えられたのです。シルバーバーチの靈訓を手にし  
た私たちは、それがこれまでのどの靈界通信よりも、内容的にも、スケールの点でも、  
正確さの点においても優れていることを実感しました。そして真理探究の一つの到達点  
に至ったことを直感しました。その後、徹底してシルバーバーチを学ぶ中で、その直感  
の正しさを、ますます確信するようになりました。

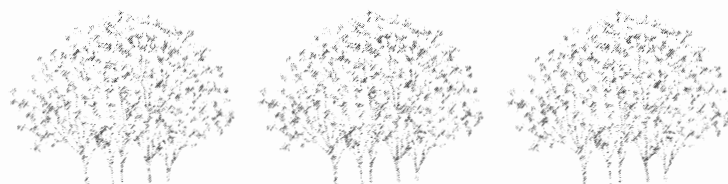
\*私たちは現時点の地球上には、『シルバーバーチの霊訓』以上の真理は存在しないと考えています。なぜならシルバーバーチの霊訓は、今現実に行進しているスピリチュアリズムという霊界あげての大プロジェクトによって計画的・意図的にもたらされたものだからです。高級霊界の神庁において決定された内容が、綿密な計画に従って地上に示されたものだからです。

スピリチュアリズムには多くの霊界通信があり、それらによって霊的真理が地上にもたらされましたが、その霊界通信は、シルバーバーチの霊訓において頂点に至ったと考えています。霊界の啓示は、その時代より常に一歩進んだものが与えられます。そして地球人類の霊性がそこに行き着くと、さらにもう一歩進んだものが与えられるという形で進展していきます。

啓示というものは、時代と民族の理解力に合わせて届けられるもので、継続的かつ進歩的です。理解力の及ぶ範囲内で少し進んだもの、ということです。常に一歩先のものが届けられ、そこまで到達すれば、さらに次の段階のものを、というふうに無限の梯子<sup>はしご</sup>を登ってまいります。(シルバーバーチより)

したがって将来的には、シルバーバーチ以上の真理が地上にもたらされる可能性は否定できません。ただしそれは、高級霊界の神庁において決定された時にのみあり得ることなのです。遠い将来には、現在シルバーバーチの霊訓においても明らかにされていない内容が示されることになるでしょう。

しかし現時点での地球人類の霊性のレベルを考えるならば、そうした時期は、今しばらく先になるものと思われます。当分の間は、シルバーバーチに優るものは現れないと考えています。



皆さんがシルバーバーチとお呼びくださっている私は、霊界の無限の知識のホンの一部を託されているだけです。ですが、皆さんがさらに進化すれば、私よりもっと立派な指導者が、私を利用して一段と高い次元の知識と叡智を授ける手筈を整えております。

(シルバーバーチより)

もし皆さん方の中で、今すでに“シルバーバーチ以上のものがある”と思われる方がいらっしゃるならば、どうか教えてください。そしてシルバーバーチと比較して、どの点がどのように優れているのかも教えてください。

もし、それが私たちの理性に照らして納得できるものであり、総合的に見てシルバーバーチ以上のものと判断できるならば、そのときは私たちは、ためらうことなくそれを自分たちの人生の指針とすることになります。サークルの新しい指針とすることになります。

● シルバーバーチとの出会いは、私たちに「あらゆる点で根本的な変化」をもたらしました。シルバーバーチの霊訓によって、霊界と宇宙と人間についてのシンプルであるけれど、きわめて深遠な真理が示されました。私たちは今、最高の真理に出会えた喜びと感動に満たされています。シルバーバーチの霊訓は、私たちの人生観と価値観・世界観に根本的な変化をもたらしました。しかもそればかりでなく、私たちの地上人生の目標と日々の努力の方向に対しても明確な答えを示してくれました。

シルバーバーチの霊訓は、私たちの人生とすべての意識を変えました。シルバーバーチの霊訓という高級霊界からの真理によって、私たちに「真の霊的再生」のチャンスが与えられたのです。

人間が地上生活を生き抜き成長していくために必要な真理は、これ以上付け加えるべきものは何也不会あります。あとは真理をより深く理解すること、神とのつながり、および同胞とのつながりに関して、よりいっそう理解を深めることです。新たに申し上げることは何一つありません。(シルバーバーチより)

● シルバーバーチとの出会いによって「靈的真理の實踐」が、私たちの人生と日常生活の中心となりました。シルバーバーチの靈訓という心の底から信頼できる真理との出会いが与えられたことによって、私たちの人生は真理探究の歩みから、真理の實踐・信仰實踐という新たな方向に踏み出すことになりました。真理の探求にすべてのエネルギーを費やさざるをえなかった時期には、求めても得られなかった世界が開かれるようになりました。

実践なくして靈的成長はありません。真理を求めているだけでは、あるいは真理を語るだけでは心の成長はありません。単純な靈的真理を、こつこつと日常生活の中で実践してこそ靈的成長が達成されます。シルバーバーチの靈訓との出会いによって、私たちは実践にエネルギーを向けることができるようになりました。思い切って信仰の世界に身を委ねることができるようになりました。安心して神と靈界の導きに、人生を捧げることができるようになったのです。こうして靈的真理を忠実に実践に移していくという、実にシンプルな靈的人生・信仰生活が始まりました。

私の説く宗教は實踐の宗教です。一日一日の宗教——1日24時間、1時間60分、1分間60秒、そのすべてを實踐の時とする宗教です。(シルバーバーチより)

● シルバーバーチとの出会いによって、私たちが地上人生をかけてなすべきことは「靈的真理の普及」であることが明確になりました。シルバーバーチの靈訓によって、スピリチュアリズムの目標、すなわち靈界の高級靈たちの目指しているものが、靈的真理を地上にもたらすことであることがはっきりとしました。靈的真理によってのみ地上人類は救われ、地球上から悲劇が追放されるようになります。靈界の高級靈たちは、私たち地上人類のために、たいへんな苦勞をして真理をもたらしてくれました。

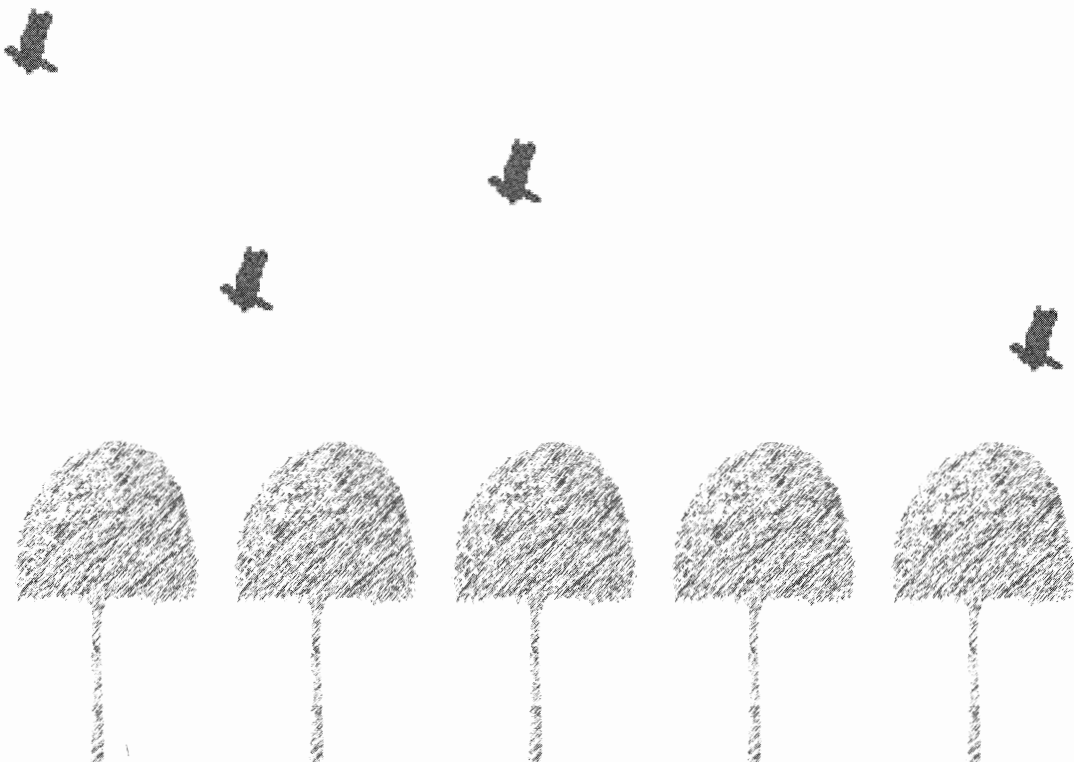
その事実を知ったとき、私たちのなすべきことは靈的真理の普及だけであると、心の底から納得しました。“高級靈がもたらしてくれた靈的真理を地上に広める”——これ以外に私たちのなすべきことはないことを理解しました。そして「靈的真理の普及」という貢献を通じて、自分たちの人生を人々の救いのために捧げようと決意しました。私たちのサークルには、スピリチュアリズムの靈的真理を普及するという単純で明確な目標が与えられました。



\*スピリチュアリズムにおける「靈的真理の普及」は、真理を受けられるレベルにまで至った人間（時期のきた人間）に、靈界からの導きの中で真理との出会いがもたらされるという形で進展していきます。したがって私たちが靈的真理の普及に貢献するといっても、相手の人間に一生懸命に真理を語って無理やり受け入れさせたり、また大会などを開いて大勢の人間にまとめて真理を伝えるという形で進めるものではありません。

私たちがなすべきことは、靈界の導きによって出会えた方々の前に『シルバーバーチの靈訓』をそっと置いて差し上げることだけです。「ここに本当に素晴らしい靈的真理があります。一度読んでみてください」と、紹介することだけなのです。真理の所在を知らせるということです。後は、すべて本人がどうするのかを決めることになります。真理を人生の指針として生かし靈的成長の道を歩むのか、それとも無視してしまうのかは、すべて本人の責任に任せられ、私たちの関与するところではありません。

私たちの真理普及の奉仕とは、「靈的真理のPR係り」として求めてきた方々に真理を紹介することであって、教育者として育てることはないので。



● 私たちは、スピリチュアリズムとシルバーバーチの靈訓の「PR係り」に、そして「靈的真理の灯台」に徹することを決心しました。私たちは、スピリチュアリズムとシルバーバーチの靈訓を広めることだけに専念すればよいことがはっきりしました。一人でも多くの人々に、今靈界あげて展開している大プロジェクトの現実と、その結晶としてもたらされたシルバーバーチの靈訓という靈的宝の存在を知らせること——それだけにエネルギーを傾ければよいということに心が定まりました。スピリチュアリズムによって高級靈界からもたらされた「靈的真理」は、すべての地球人にとって最高に価値あるものです。その靈的福音を伝える仕事に携われることは、感謝以外の何ものでもありません。本当に光栄なことです。

靈界の高級靈たちが総力をあげてもらってくれた靈的真理を扱う私たちは、最高の誠意を持って、それに臨まなければなりません。地球人類にとっての宝を、人間の手垢で汚すようなことをしてはなりません。また真理の内容がたとえ厳しいものであっても、それを地上の人間の常識レベルに引き下げたり、適当にアレンジするようなことをしてはなりません。靈界から与えられた真理は、常に純粋なまま人々に伝えようとしなければなりません。私たちは靈的真理を、人間の手垢で汚さず、純粋なままの形で人々に伝える「靈的真理の灯台」になろうと決心しました。

● 私たち一人一人、そしてサークル全体は「靈界の道具」にすぎません。シルバーバーチは真理普及について、きわめて重要なことを教えてくれています。それは自分自身を靈界の道具とするということです。シルバーバーチは自らを、自分よりさらに高い靈たちの道具であると明言しています。そして地上人は、靈界で献身的に働く靈たちの道具として身を捧げて欲しいと繰り返し述べています。

シルバーバーチはまた——「皆さんは、決意一つで靈界の道具となれる」とも述べています。

どうかあなたも、地上世界を毒している諸悪の駆逐のために、私たちの味方になってください。私たちの新たな道具として、一命を捧げていただけませんか。

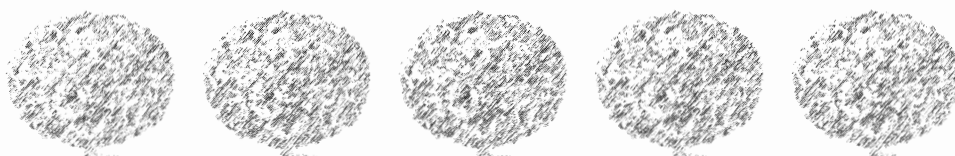
(シルバーバーチより)

私たちは、サークル全体を「霊界の道具」と位置づけしました。自分たちの能力のなさ・未熟さにいつまでもこだわってはいけない、たとえ能力がなく未熟であっても、霊界の道具として自分たちを捧げることができるはずだと思いました。そして霊界でスピリチュアリズム普及に携わる霊たちに、思い切り使ってもらえるような地上の道具を目指そうと思いました。自らを霊界の道具として捧げ、霊界の人々の応援の中で真理普及に邁進しようと決心しました。

地上人は、霊界の道具として身を捧げることによって霊界の億万の霊の大軍の一員となり、その強大な力を借りることができるようになります。自分一人ではとても考えられないような大きな貢献と奉仕が可能になるのです。シルバーバーチによって私たちは、「霊界の道具になる」という最高の人生の秘訣を教えてもらいました。そしてその言葉通りに、実に多くの霊界からの導きと応援を受けて現在に至っています。

「道具意識」は、霊的処世術としてもまことに優れています。自らを霊界の道具とすることで、自分自身の功績を求める醜い野心から解放されます。すべてのことに前向きになることができます。しかも自力に頼ってガムシャラに突き進むようなこともなくなります。霊界の莫大な援助が得られるようになるため、能力のなさがカバーされます。それによって自分たちの能力のなさ・力のなさを嘆く必要はなくなり、ゆったりとした思いで、謙虚に日々の生活を送ることができるようになります。

スピリチュアリズムの“主役”は霊界の高級霊たちであって、私たち地上のスピリチュアリストはその“道具”として、お手伝いさせていただくという立場です。霊界の道具にすぎない者が、スピリチュアリズムを利用して、この世の利益（富・名声・人気）を得ようなどと思っはなりません。私たちは常に、スピリチュアリズムによってこの世の利益や栄光を得るようなことがあってはならないと言い聞かせ、厳しく心を戒めています。そして自分たちの持っているもの（時間・エネルギー・財産）を、可能なかぎりスピリチュアリズムのために提供しようと思っています。また決して自分たちのPRなどはしないこと、スピリチュアリズム普及にともなう犠牲を喜んで受け入れることを決意しています。



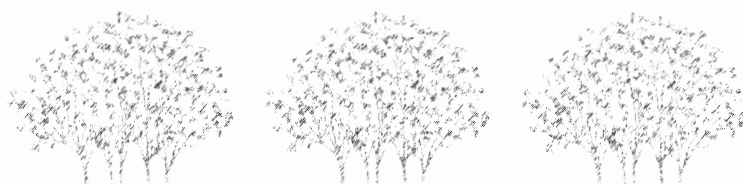
● 霊界の人々の誠意と熱意、自己犠牲と献身を、決して裏切るようなことをしてはならない——私たちは強く決意しました。シルバーバーチの霊訓を通じて、霊界でスピリチュアリズムのために働く霊たちの誠意・熱意・献身性を知ることができました。彼らは自分たちの利益を一切求めず、ひたすら私たち地上人のためだけに苦勞の道を歩んでくれています。

その事実を知ったとき私たちは、彼らの犠牲的歩みを決して踏みにじるようなことをしてはならない、誠意を裏切ってはならないと思いました。そして少しでも霊界の人々の苦勞に報いていかなければならないと決意しました。そうした意識が、徐々に霊界の人々との距離を近づけ、思いを共有できるようになっていきました。

● シルバーバーチによって「人類への靈的同胞意識」が目覚めました。地球人類全体に対する意識が根本的に変化するようになっていきました。霊界の人々との心の接近がなされるようになるにつれて、シルバーバーチが強調する靈的家族・靈的同胞意識が、少しずつですが実感をともなって理解できるようになっていきました。シルバーバーチや霊界の高級霊たちが、地球人類に向ける愛の思いが、自分たちの心を通じて徐々に分かるようになりました。シルバーバーチの霊訓という本物の真理によって靈的視野が大きく開かれ、暗かった私たちの心に強い靈的光が射し込むようになったのです。

地球上のすべての人間は「神の子供」です。神の分霊として永遠の個別性を与えられています。そのため地上人類全員が「靈的家族の一員」であり、「靈的同胞」と言えるのです。この意味で地球上の誰一人、他の者より偉大で抜きん出た者はいません。神から特別な価値を与えられた人間はいないのです。また誰もが同じように神から愛されています。神から愛されていない人間、神から忘れ去られている人間はいないのです。

すべての人間が等しい靈的同胞である以上、一握りの人間だけが先に幸せになるというようなことは許されません。地球人としての共同的運命を担っているからには、ともに進化し、ともに幸せに至らなければならないのです。地球人類全員が協力し合って進化の道をたどり、幸せな世界をつくるという共同責任を負わなければなりません。



霊界の高級霊たちは、私たちの先輩として、地球人類全体の進化を自分の問題として考え、愛の思いから献身的に働きかけてくれています。スピリチュアリズムという「地上人類救済計画」は、霊的同胞として霊界人・地球人が一緒になって進めているプロジェクトです。地上人類すべての幸せを求める一大事業なのです。先に霊的真理と出会ったスピリチュアリストは、その活動の先頭に立つべきなのです。

私たちはシルバーバーチの霊訓に啓発され、こうした「霊的同胞意識」を持つことができるようになりました。それが現在の私たちの日々の歩みとスピリチュアリズム活動のエネルギー源となっています。今、少しずつですが同じ地球上で苦しむ人々の悲しみを、自分の悲しみとして受け止めることができるようになりました。そうした悲劇を地球上から駆逐するために、霊的真理普及の重要性が以前にも増して実感できるようになりました。

霊界の高級霊たちが、地球人類を悲劇から救済するために真理普及に全力を尽してくれているように、私たちも微力ながらそれを見ならい、可能なかぎりの貢献をしたいと思っています。

● **スピリチュアリズムによって救われ、シルバーバーチによって啓発された私たちは、毎日毎日を必死に歩んでいます。** 霊的真理という人生の指針・日常生活の指針が示されたことは本当にありがたいことです。従来宗教とは全く無縁なところで本物の霊的人生を歩めるということ、しかも最高次元の霊的人生を送れるということは、何にも増して嬉しいことです。

とは言っても現実の信仰生活は、なかなか思うようにいくものではありません。毎日が未熟さからくる失敗の連続です。自分自身の弱さや醜さとの闘いの日々です。まさに「肉主霊従」と「霊主肉従」の間を行き来しています。日に何回もそうしたことを繰り返しています。このような現実直面するたびに、「自分は本当に成長しているのだろうか？」と思うこともあります。

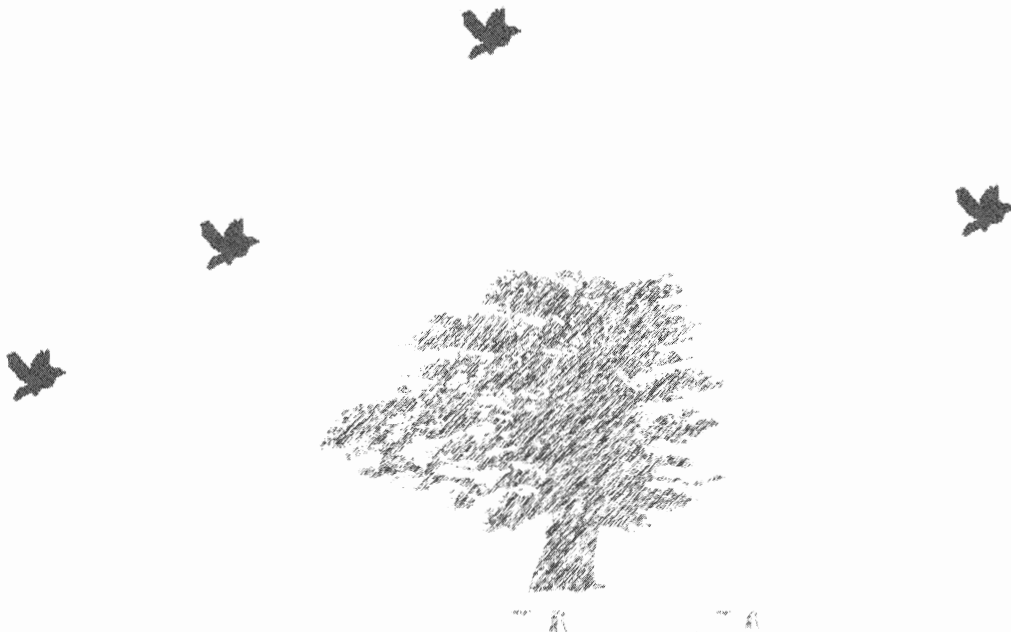
しかし今から5年前を振り返ると、たしかに当時とは大きく変化した自分を発見することができます。現在もまだまだ未熟だけれど、それでも5年前と比べると、かなりましになったと実感できます。10年前を振り返ると、さらに未熟であった自分自身を発見します。25年前、まだシルバーバーチとの出会いがなかった頃の自分たちの姿を振り返ると、あまりの未熟さに恥ずかしさを覚えます。穴があったら入りたい思いになりますが、それでも当時はそれなりに精一杯の努力をしていたことも事実です。

私たちは、シルバーバーチが繰り返し述べている「本当の宝（霊的成長）は奮闘努力なくして手に入れることはできない」という言葉を、心の底から実感することができます。今も毎日が奮闘の中にあります。自分たちが足りないことは、自分たちが一番よく知っています。“スピリチュアリズムのために働ける”ということ以外に誇れるものは何一つないことを自覚しています。

私たちはこれまでの歩みを通して、動機が正しくありさえすれば、そして何事も全力で取り組みさえすれば、時間はかかっても必ず成長できるということを確認しています。霊界に行って地上人生を振り返ったときに、後悔するようなことだけはしたくないと思っています。私たちにとって何よりも嬉しいことは、常に霊界から導かれ、ベストの道が示されているということです。道具として歩むことで、自分自身の足りなさや未熟さがカバーされているという事実は、本当に喜び以外の何ものでもありません。

私たちのことを、スピリチュアリズムの権威であるとか、スピリチュアリズムのリーダーであるなどと言う方もいらっしゃいます。しかし私たちは、スピリチュアリズムの権威になりたいなどと思ったことは一度もありません。他人から良く思われようと、悪く思われようと、それは私たちの関知するところではありません。私たちは周りの評価がどうであれ、自分たち自身の動機が、神と霊界の人々の前に公明正大なものであるかどうかだけが大切であると考えています。

私たちの意識は『シルバーバーチの霊訓』が広く普及し、この日本にシルバーバーチを中心とするスピリチュアリズムが確立されることだけに向けられています。すべての主役と権威者は、地球人類の救いのために一丸となって働いてくれている霊界の人々なのです。



## ● 2 — 心の道場の活動 (霊的ボランティア活動の内容) について

私たちのサークルでは、自分たちの力の範囲内で、可能なかぎりスピリチュアリズムに貢献することを目標としています。すべての活動は、スピリチュアリズムの発展のためであり、一人でも多くの方々に「霊的真理」を知っていただくことを目的としています。

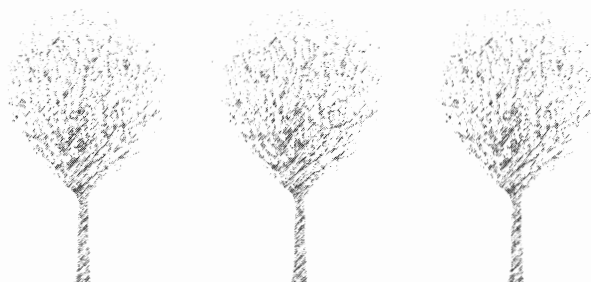
霊界ではイエスを総責任者とする人類救済活動が活発に展開されていますが、私たちはその道具として、人類のために貢献したいと思っています。自分たちだけの力に頼って奉仕しようというわけではありません。どこまでも「霊界の道具」として活動していくということです。したがって私たちには、背伸びした気負いや力みはありません。自分たちの能力と経済力の範囲内で、精一杯やろうとしているだけです。スピリチュアリズムの主演は霊界の億万の霊たちであり、私たちはその道具にすぎないからです。

私たちは霊の道具として、最高に価値ある奉仕活動に参加させていただき、最高次元の利他愛の実践の場が与えられていることを本当にありがたく思っています。感謝の気持で一杯です。

私たちのサークルでは、具体的に次のような奉仕活動をしています。メンバーの特性・専門性・能力・特技によって自分にふさわしい活動に携わっています。

- スピリチュアリズム関連良書の自費出版
- ニュースレターの発行
- ホームページの作成
- スピリチュアル・ヒーリングの奉仕 (日本スピリチュアル・ヒーラーグループ)
- ホリスティック栄養学を通じての奉仕 (ホリスティック栄養学研究所、健康フレンド)

以下では一つ一つの活動について、簡単に内容を説明します。



## ①スピリチュアリズム関連良書の自費出版

■当サークルでは、スピリチュアリズム普及のために下記のような書籍を自費出版しています。

スピリチュアリズムの全体像を正しく理解していただくための入門書『スピリチュアリズム入門』、霊的真理の実践についての手引き書『続スピリチュアリズム入門』、霊界の事実を実感を持って知っていただくための霊界通信『500に及ぶあの世からの現地報告』、スピリチュアリズム史上で最も定評のある三大霊訓『シルバーバーチの霊訓』モーゼスの『霊訓』アラン・カルデックの『霊の書』、そしてスピリチュアリズム思想の研究にとって不可欠な霊界通信『マイヤースの通信』です。

■スピリチュアリズム関連の書籍は、現時点ではきわめてマイナーなものであり、一般の書店を通じての販売形式では、一時的に流行することはあっても、いずれ絶版の事態を迎えることは避けられません。これまでも『シルバーバーチの霊訓』に代表されるスピリチュアリズム関連の良書の多くが、絶版の憂き目に遭遇しています。そうした状況を考え、当サークルでは自費出版の形式を取ることにしました。

■当サークルで自費出版している書籍については、心の道場の第2ホームページ“スピリチュアリズム・ブックス”でその全文を掲載していますので、無料でご覧いただけます。（\*マイヤースの2冊の霊界通信は未掲載です。）

## ②ニューズレターの発行

■ニューズレター発行の目的は、どこまでもスピリチュアリズムとシルバーバーチのPRにあります。ニューズレターでは、当サークルの主張・見解を述べていますが、その主張とは——「スピリチュアリズムが一番」「シルバーバーチが一番」「実践こそすべて」という3点にまとめられます。私たちの主張は——「シルバーバーチを中心とするスピリチュアリズムの確立」という言葉に言い換えることができます。

■スピリチュアリズムによってもたらされた霊的真理（\*特にシルバーバーチの霊訓）は膨大であり、それを正しく理解することは至難の技です。こうした状況を踏まえ、人々の霊的真理の理解に役立つことを願って、また真理実践の手引きとして信仰生活に役立つことを目的として、ニューズレターを発行しています。



■スピリチュアリズムとシルバーバーチの卓越性を明らかにすることも、ニューズレターの目的です。そのため他の宗教や思想をスピリチュアリズムと比較し、それらの問題点を指摘しています。スピリチュアリズムの立場からの見解を示しています。地球上の問題解決は、最終的には「スピリチュアリズム」と「霊的真理」による以外にはないことを明らかにしています。

■またニューズレターの目的の一つに、スピリチュアリズム展開のために霊界サイドで献身的に働いている多くの霊たちの実情を知らせることがあります。地球人類のために働く億万の高級霊たちは、ガンジーやマザーテレサのような無私の精神の持ち主ばかりなのです。

地上はそうした霊界人の犠牲的な努力によって進歩している事実を伝え、霊界の人々に対して感謝の思いを持ち、霊界人と地上人がより密接な関係を築く手助けとなることを目指しています。

■ニューズレターの内容の大半は、シルバーバーチの霊訓などの高級霊界通信からの受け売りとお考えください。それ以外に、他の霊界通信や思想を吟味して、正しいと確信できたものを載せています。さらには霊界から直接インスピレーションとして与えられた内容も載せています。

このインスピレーションの部分については、皆さんがご自分の理性に照らして判断してください。私たちの判断や考え方が間違っていることもありますので、皆さん方の理性にお任せいたします。各自の理性に照らして納得がいくものであれば取り入れて役立ててください。もし納得がいかなければ拒否してくださればいいと考えています。

■ニューズレターは、シルバーバーチの霊訓を最高の真理・最高の叡智とするところから出発しています。「シルバーバーチの霊訓が一番」という前提のもとで述べています。この意味から、ニューズレターを読んでいただく対象者（読者）は、「すでにシルバーバーチの霊訓を素晴らしいと思っている方」、あるいは「素晴らしいと思える方」ということとなります。シルバーバーチの霊訓に否定的な方、シルバーバーチを全く知らない方を対象とはしていません。もし、こうした方々がニューズレターを読めば、“ニューズレターは狂信的で一方的な見解を述べているだけ”ということになるでしょう。

私たちは、ニューズレターが否定され拒否されても『シルバーバーチの霊訓』を読んでもいただけるなら、それでいいと考えています。ニューズレターは、シルバーバーチの霊訓の「PR係り」にすぎないからです。

■ ニュースレターは3ヶ月に1回、発行しています。希望者には1～5号までを無料でお送りしています。また書籍を購入してくださった方には、希望により、その時点から新たに発行する分のニュースレターを無料でお送りしています。

■ ホームページで、これまでのニュースレターのすべての内容をご覧いただけます。またかなりの号をPDF化していますので、ダウンロードして実物と同じ形で読んでいただけます。

### ③ ホームページの作成

■ インターネットは、まさに物質文明からの贈り物です。私たちのように資金も能力も人材も乏しいサークルにとって、インターネットはスピリチュアリズムへの奉仕のために大きな力を提供してくれます。霊的真理の普及において、インターネットは本当に強力で、ありがたい道具です。

■ 私たちのサークルは、スピリチュアリズムとシルバーバーチのPRに専念しています。私たちがニュースレターやインターネットでお届けするものについては、すべて皆さん方の理性の判断に任せるようにしています。すべての評価を皆さん方の良心と理性に委ねています。

もし私たちの見解に納得がいかないというときには、どうぞ拒否してください。シルバーバーチの霊訓の中には厳しい内容があります。それをそのままニュースレターで伝えれば、心の道場は“サタンの手先”であるとか“狂信主義の団体”であるとか“教条主義的グループ”であるといった非難を受けるようになることを承知しています。

しかし私たちは、どこまでも「霊界の道具」である以上、世の人々の非難や批判に対して反論するつもりはありません。私たち自身が、自分の良心に照らして「神の前に正しく歩んでいる」「利己的な動機から一切の行為をしていない」という確信を持てるならば、それでいいと考えています。こうした事情から、あえて掲示板は設けないようにしています。一方通行の在り方に不満を感じていらっしゃる方も多いと思いますが、私たちはこの方法でスピリチュアリズムへの奉仕を進めていくつもりです。



■ 私たちに対してご意見やご質問があるときには、お手紙でお願いいたします。真摯なご質問については、誠意を持ってお答えするようしております。私たちは手紙などを通じて、時間をかけて友好関係を深めていきたいと思っています。そうした形で、スピリチュアリズムの同志との輪を広げていきたいと願っています。（\*とは言っても、私たちのサークルの会員になっていただくということではありません。）

■ 当サークルでは、この紹介文を載せている公式サイト以外に、第2ホームページとして“スピリチュアリズム・ブックス”を開設しています。ここでは当サークル出版の書籍（\*マイヤースの2冊を除く）の全文を見ることができるようになっています。

また現在、第3ホームページ開設の準備を進めています。ここでは心霊現象・霊能者といった世間一般でよく話題となる心霊的な問題を総合的に取り上げる予定です。人々に正しい心霊知識を提供し、心霊を悪用した不正を牽制<sup>けんせい</sup>していくことが目的です。世の人々が、詐欺的霊能者やペテン師的霊能者に騙されて嫌な目に遭わないようにするためのものです。

#### ④スピリチュアル・ヒーリングの奉仕

■ サークルのメンバーの中で、信仰生活の努力を通じて心霊能力の発現した者が、ヒーラーとしてスピリチュアル・ヒーリングの奉仕に携わっています。現在、約20名のヒーラーがいて、「日本スピリチュアル・ヒーラーグループ」のメンバーとして活動しています。

■ これまで縁があった西洋医学の病院で、月に一度のヒーリング・ボランティアをしてきました。また全国各地の方々を対象とした遠隔ヒーリングも行っています。今まで、名古屋や横浜において公開ヒーリングを開催してきました。今後も遠隔治療のボランティアと公開ヒーリングを継続していきます。



■ スピリチュアル・ヒーリングに関する情報を提供する目的で、ホームページを開設しています。関心のある方、またヒーリングを希望される方はご覧ください。

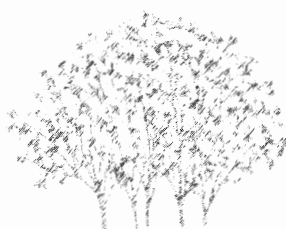
■ 日本スピリチュアル・ヒーラーグループでは、スピリチュアル・ヒーリングについての正しい理解のために、また本物のスピリチュアル・ヒーリングの普及・発展のために、書籍を自費出版する予定です。（\*タイトルは『スピリチュアル・ヒーリングとホリスティック医学』で、4月中の刊行を目指しています）本の内容は、日本スピリチュアル・ヒーラーグループのホームページに掲載いたします。

### ⑤ホリスティック栄養学を通じたの奉仕

■ サークルのメンバーの専門知識を生かして、肉体レベルの健康への奉仕活動を行っています。スピリチュアル・ヒーリングが、霊的レベル・精神レベルからのアプローチを行うのに対し、ホリスティック栄養学では、肉体次元から上位レベルに向けての働きかけをします。スピリチュアリズムに携わる方々の健康維持に協力することと同時に、いまだスピリチュアリズムと出会っていない一般の方々に対する奉仕の一環として活動しています。

■ ホリスティック栄養学研究所における啓蒙活動は、食生活の根本改善・肉食主義に向けての指導が中心となっています。食生活の改善を通じて、本人の意識と生活全体が「肉主霊従」から「霊主肉従」に移行するようになります。食生活改善は肉体次元での努力ですが、その影響は肉体レベルにとどまらず、霊的レベル・精神レベルにも波及します。

■ ホリスティック栄養学研究所の活動のもう一つの目的は、スピリチュアル・ヒーリングを希望される方、あるいはすでにヒーリングを受けた方へのサポートをすることです。肉体次元の原因を取り除くことによって、完治まではいかなくとも症状が軽減したり好転することがたびたびあります。ヒーリングを受ける前に食事療法・栄養療法を心がけるだけで快癒する方もいます。

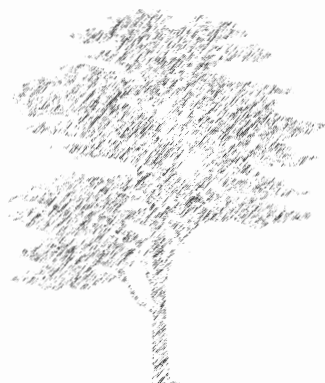


■ホリスティック栄養学研究所と健康フレンドが特に対象としている分野は——「生活習慣病全般」「アトピー・アレルギー」「心の病気・精神障害」です。

■ホリスティック栄養学研究所と健康フレンドの具体的な活動内容は、ホームページを通じての情報提供、カウンセリングを通じての個別指導、セミナー開催による一般人を対象とした啓蒙活動、食生活改善のための食材入手のサポートとなっています。

■詳しいことをお知りになりたい方は、ホームページをご覧ください。またホリスティック栄養学研究所では、健康学・栄養学の専門的知識を理解していただくために、書籍を自費出版しています。（\*タイトルは『ホリスティック健康学・ホリスティック栄養学入門』）その内容の多くをホームページに掲載していますので、関心のある方はそちらもご覧ください。

以上が、当サークルにおける共通のボランティア活動の内容です。こうしたサークル全体としての奉仕活動とは別に、メンバーの一人一人が、自発的に、自己責任のもとで、思い思いに、自分の時間の範囲内で、霊的真理の普及や外部のボランティア活動に参加しています。



### ● 3 —サークルのメンバーについて

●● 当サークルのメンバーについてのお問い合わせを、よくいただきます。「心の道場」は、現在約40名からなる小さなスピリチュアリズム・サークルです。すでに述べてきましたように、私たちは心の道場を「霊的なボランティア・サークル」と考えています。大半のメンバーが、20年以上のスピリチュアリズムとの付き合いを持っています。

これまでともに真理の探究に取り組み、スピリチュアリズムを信仰として実践的歩みを心がけてきました。未熟さゆえに多くの失敗もありましたが、お互いが切磋琢磨<sup>せつさたくま</sup>し合う中で、スピリチュアリストとしての基礎をつくるための訓練の期間を過ごしてきました。その間、一人一人のメンバーは口に出しては言えないような、厳しい峠を何度も乗り越えてきました。そのたびに霊的真理にしがみつ、霊界の導きを信じて歩んできました。

そうした体験を通じて、霊的真理の深い世界を少しずつ理解することができるようになっていきました。まさに失敗から学び、失敗から成長するという歩みだったように思います。これまで何度、「今から再出発だ！」と決意し直したことでしょうか。失敗の数だけ、成長が促されてきた私たちの信仰プロセスでした。

●● 現在に至るまでの過程で、サークルには多くの者が集い、多くの者が去っていきました。言うまでもないことですが、集ってきた者はすべて仲間として、同志として受け入れてきました。しかし一歩高い目標を掲げると、それに相応できない者は去り、霊的に相応できる別の者が集ってくるということを繰り返してきました。そうして少しずつ霊的なレベルアップがなされてきたのです。まさに出入りの激しい流動的<sup>たもと</sup>な歩みでした。また時には、スピリチュアリズムとは別の道を歩みたいと願う者たちと袂を分かつたなければならないようなこともありました。

そして今から約15年ほど前に、シルバーバーチを中心とする現在のサークルの出発点にたどり着きました。私たちは、それまでのすべての考え方とやり方を根本から改め、シルバーバーチの教えにそって真新しく生まれ変わりました。やっとう霊界の願う本当の出発点に立つことができたのです。

振り返ってみると25年前の私たちは、あまりにも未熟で恥ずかしいようなレベルにありました。そうした私たちが、霊界の導きの中で徐々に霊的レベルを引き上げ、最後にシルバーバーチとの出会いを得て、サークル全体が、そしてメンバーの一人一人が、根本的に大変革を遂げました——「シルバーバーチを霊的人生の指針とし、スピリチュアリズムへの貢献を自分たちのライフワークとする」という共通の目標のもとにメンバーの

心が一つになりました。その共通の目標をお互いの絆として、現在にまで至っています。これまで背後から霊界の人々の必死の導きを受けの中で、やっと現時点にまでたどり着くことができたものと思っています。

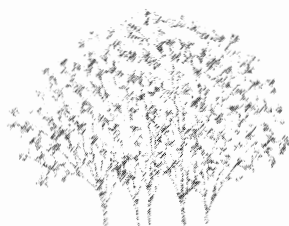
❖❖ 私たちのサークルは、スピリチュアリズムの霊的真理（\*特にシルバーバーチの霊訓）を指導者・人生の教師として歩んでいます。その教えを日常生活の中で実践することを心がけています。霊的成長はどこまでも個人責任の問題です。すべての行為は自己責任によって、自発性と自主性のもとで進められなければなりません。

その意味でサークルには、一般の宗教組織に見られるような霊的指導者はいません。ただ地上の人間の集まりであるため、まとめ役が必要となります。小池里予が代表世話人を務めています。とは言っても、小池も一人のシルバーバーチの信奉者にすぎません。

❖❖ シルバーバーチと出会う前には、霊的真理（心霊学）を広めようとの情熱から、一生懸命に伝道を展開してきたこともあります。しかしシルバーバーチに出会ったことで、そうした布教方法は間違いであることに気がつきました。

そして私たちは、霊界の導きの中で、自分たちのできる範囲内でスピリチュアリズムの発展に貢献することを目的とするサークルに生まれ変わりました。自分たちの力量の範囲内で「真理の種まき（真理のPR）」だけに専念するサークルに成長することができました。

❖❖ これまで多くの方々から、私たちのサークルに入会したいとお申し出をいただいておりますが、そのすべてにお断りいたしております。私たちのサークルが目標としているのは、「現在のメンバーで、できる限りの奉仕をする」ということです。ボランティア・サークルとして、自分たちのできる精一杯の霊的奉仕をすることを目指しているにすぎません。したがって今後も、会員を募ってサークルを大きくし、活動の規模を拡大するつもりはありません。

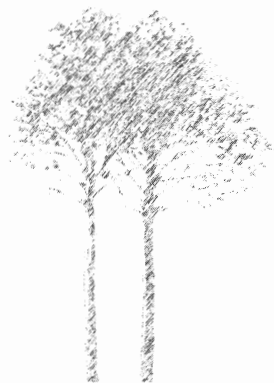


•• 「心の道場では、資金の調達はどのようにしているのですか？」との質問を受けます。物質世界に住み活動する以上、当然お金がかかりますが、サークルのメンバーの経済力の範囲内で、できるだけことをしようと心がけています。サークルのボランティア活動は、メンバーの自発的な献金と、健康フレンドによるわずかな利益でまかっています。少人数のサークルですので、常に資金難の状態で綱渡りをしてはいますが、ありがたいことにシルバーバーチが言うように、霊界からの導きの中で必要な資金が与えられ、何とか今日まで活動を維持することができています。

現在に至るまでには、何度か財政的なピンチがありましたが、その度ごとに不思議に導きの手が差し伸べられ、切り抜けることができました。私たちは“貯えもしないが、借金もしない”というモットーのもとでやってきました。借金をしてまで無理な奉仕活動はしない、すべてを霊界の導きに任せるという方針でやってきました。資金不足で奉仕活動に限界がきたときには、それは自分たちがやるべきことではない、あるいは時期尚早で今やるべきではないとの判断をするようにしています。

•• 私たちは、皆さん方が私たちのようにスピリチュアリズム・サークルやチャーチ、読書会をつくって、自分たちの力の及ぶ範囲で奉仕の人生を歩んでくださることを願っています。その際には、私たちは喜んで、できる限りの協力をさせていただきます。

「スピリチュアリズムという霊的絆で結ばれた同志が、全国各地で活発な活動をしている」——これが私たちの願いとするところです。たとえその方々のお名前を知ることもなく、生涯面識を持たないとしても、そのようにして本物のスピリチュアリズムが広がっていくことを心から望んでいます。従来のような宗教組織のないところで、高級霊からの「霊的真理」を共通の絆として“霊的ネットワーク”が広がっていくことが私たちの願いです。

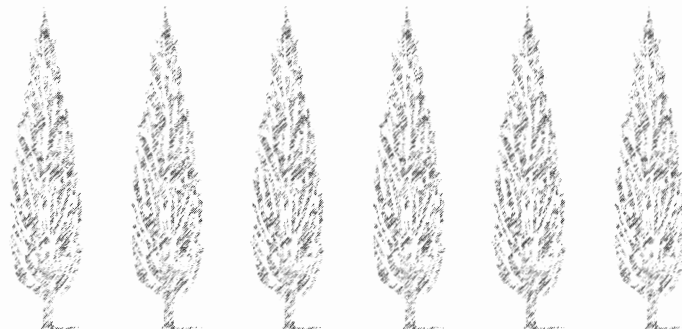




❖❖ 私たちのサークルは、中年・老年が大半の熟年サークルです。最年少は38歳、最高齢は84歳に至ります。50歳以上が約半数を占め、まさに中年パワー・老人パワーに頼って運営されています。新会員を募っていないので若者がいません。そのため今後メンバーが一人また一人と他界していくにともない、ボランティア活動は縮小することになるでしょうし、やがてはサークル自体も自然消滅することになります。（\*すでに他界した者もいます）とは言っても、メンバー全員が、死後も霊界で引き続きスピリチュアリズムの軍団の一員として働きたいと熱く燃えています。

将来は、私たち以上に信仰心が篤く、霊性に恵まれ、能力も、知性も、人格も優れた人々が次々と現れ、全国各地でサークルやチャーチ活動を展開し、スピリチュアリズムを大きく発展させてくださるようになるものと確信しています。私たちは霊界から、そうした方々のサポートに携わりたいと願っています。私たちは、21世紀というこの時期におけるスピリチュアリズムの一つの捨石として貢献できることを感謝し、与えられた地上人生を全力で走り抜いていきたいと思っています。

(2006年1月 記)



## ❧ スピリチュアリズム・ライブラリー ❧

スピリチュアリズム・サークル「心の道場」では、スピリチュアリズム精選シリーズとして、下記の本を自費出版しています。

- ◆スピリチュアリズム入門 (169頁)  
ースピリチュアリズムが明かすー「心霊現象のメカニズム&すばらしい死後の世界」
- ◆続スピリチュアリズム入門 (256頁)  
ー高級霊訓が明かすー「霊的真理のエッセンス&霊的成長の道」
- ◆スピリチュアリズムの真髄「現象編」(297頁)  
『The Mediums' Book』 アラン・カルデック編著/近藤千雄 訳
- ◆スピリチュアリズムの真髄「思想編」(357頁)  
『The Spirits' Book』 アラン・カルデック編著/近藤千雄 訳
- ◆500に及ぶあの世からの現地報告 (437頁)  
ーエクトプラズムボックスを通じて明らかにされる死の直後の実生活ー  
『Life After Death』 ネヴィル・ランドル著/小池 英 訳
- ◆マイヤースの通信ー永遠の大道(全訳) (271頁)  
『The Road to Immortality』 G・カミンズ著/近藤千雄 訳
- ◆マイヤースの通信ー個人的存在の彼方(全訳) (304頁)  
『Beyond Human Personality』 G・カミンズ著/近藤千雄 訳
- ◆霊訓(完訳・上)『The Spirit Teachings』(225頁)  
ステイントン・モーゼス著/近藤千雄 訳
- ◆霊訓(完訳・下)『The Spirit Teachings』(260頁)  
ステイントン・モーゼス著/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチは語る(443頁)  
『Teachings of Silver Birch』 A. W. オースティン編/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチの霊訓  
ースピリチュアリズムによる霊性進化の道しるべー  
『A Voice in the Wilderness』 トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチの霊訓  
ー地上人類への最高の福音ー  
『The Seed of Truth』 トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳
- ◆シルバーバーチの霊訓 ー霊的新時代の到来ー 『The Spirit Speaks』  
トニー・オーツセン編/近藤千雄 訳

### 〈新刊書のお知らせ〉

- ◆スピリチュアル・ヒーリングとホリスティック医学  
ー霊的エネルギー療法の本質と将来の医学の方向性ー
- ※日本スピリチュアル・ヒーラーグループより、  
4月中に刊行の予定です。

# スピリチュアリズム・ビデオ&テープ ライブラリー

## VIDEO

### ビデオ『地球人類の霊性進化の道 “スピリチュアリズム”』

— 霊的真理のエッセンス・真理編 —

(価格)

「真理編・前編」 2時間テープ 1本……2000円

「真理編・後編」 2時間テープ 2本……3500円

※別途、送料がかかります。

※ビデオは、VHSとS-VHSの2つのタイプがあります。どちらかをご指定ください。  
S-VHSのタイプの方が、よりきれいに映りますが、専用デッキでないと再生できません  
のでご注意ください。

## TAPE&CD

### スピリチュアリズム関連書籍

#### 朗読テープ

「スピリチュアリズム入門」 90分テープ 4本……2,000円

「続スピリチュアリズム入門」

90分テープ 5本  
60分テープ 1本 } 計6本……2,800円

「500に及ぶあの世からの現地報告」

90分テープ 8本……3,500円

#### 朗読CD

「スピリチュアリズム入門」 74分 CD 5枚……3,000円

「続スピリチュアリズム入門」 74分 CD 7枚……4,000円

「500に及ぶあの世からの現地報告」

74分 CD 10枚……5,500円

※いずれも別途、送料がかかります。

## 第5回 公開ヒーリングのお知らせ

日本スピリチュアル・ヒーラーグループによる第5回目の「公開ヒーリング」の日程が決まりました。開催日は7月9日（日曜日）、会場は“アートフォーラムあざみ野”——レクチャールームです。（\*先回と同じく横浜市ですが、会場は変更いたしました。）

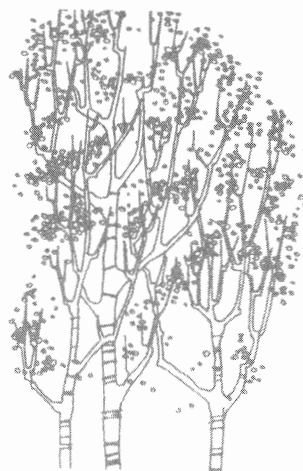
定員は60名です。お申し込みは、日本スピリチュアル・ヒーラーグループまで電話でお願いいたします。受付開始は5月15日（月）、申し込みの締め切りは、6月23日（金）です。受付は、月曜日と金曜日の午後12時30分～7時です。

詳細については、ヒーラーグループのホームページをご覧ください。

日本スピリチュアル・ヒーラーグループ

T E L 052-526-0434

※公開ヒーリングについてのお問い合わせも上記の時間内をお願いいたします。



*Spiritualism Circle*  
***Kokoro no Dojo***